

◆ 平成28年度 活動報告シート ◆

団体名：NPO 法人 けやの森自然塾

19A-15

代表者：理事長 佐藤朝代

URL : keyanomorishizenjuku.com

1. 活動が必要とされた状況

緑が多く残る狭山市内でも自然の中で遊ぶ機会が少なくなり、とくに保護者の世代でも幼少期に自然体験をしたことがなく、どうやって子どもたちに自然体験をさせてあげたらよいのか分からないという声があった。

そこで、自然の中で思いっきりあそべる環境とプログラムを提供することで、人として大切な情操を育み、親子の絆を深める機会となると考えた。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

日程	参加人数	活動内容	
5/15(日)	61人	林あそび	春の生き物探しとパン焼き
5/21(土)	47人	林あそび	春の生き物探しとピザ焼き
6/18(土)	36人	川あそび	カヌーに乗って楽しもう1, 2
7/2(土)	50人	川あそび	カヌーに乗って楽しもう3, 4
9/3(土)	28人	川あそび	カヌーに乗って楽しもう5, 6
10/23(日)	60人	林あそび	林の保全体験とパン焼き
10/29(土)	60人	林あそび	林の保全体験とピザ焼き

3. 活動の成果

昨年と比較して130%の参加者が集まり、多くの親子が自然に親しむことができた。

自然のあそびの入門編であるこの活動が、埼玉県内に広く周知され、さらには口コミによる参加者増があった。また、親子で保全活動をし、生きものに触れることで、自然の中で過ごす心地よさや、命の営みも感じることもできたと思う。



4. 今後に残された課題

5年目となるこの活動も、自立して継続できるよう参加費の見直しを行ったが、参加人数のバランスもほどよく、認知度も上がったため、安定した収入があった。

入門編であるこの活動は、自然体験・保護保全の裾野を広げるための位置づけで、今後も長く続けていく必要がある。また、入門編から次のステップの受け皿としてのプログラムも並行して行っているため、そちらへの移行も促し、親子園としては、常に初心者を対象とした活動をコンスタントに行っていきたい。今後も継続して県内広くにチラシを配布していきたい。